

# 犬山の自然をたずねて

～善師野周辺コース～

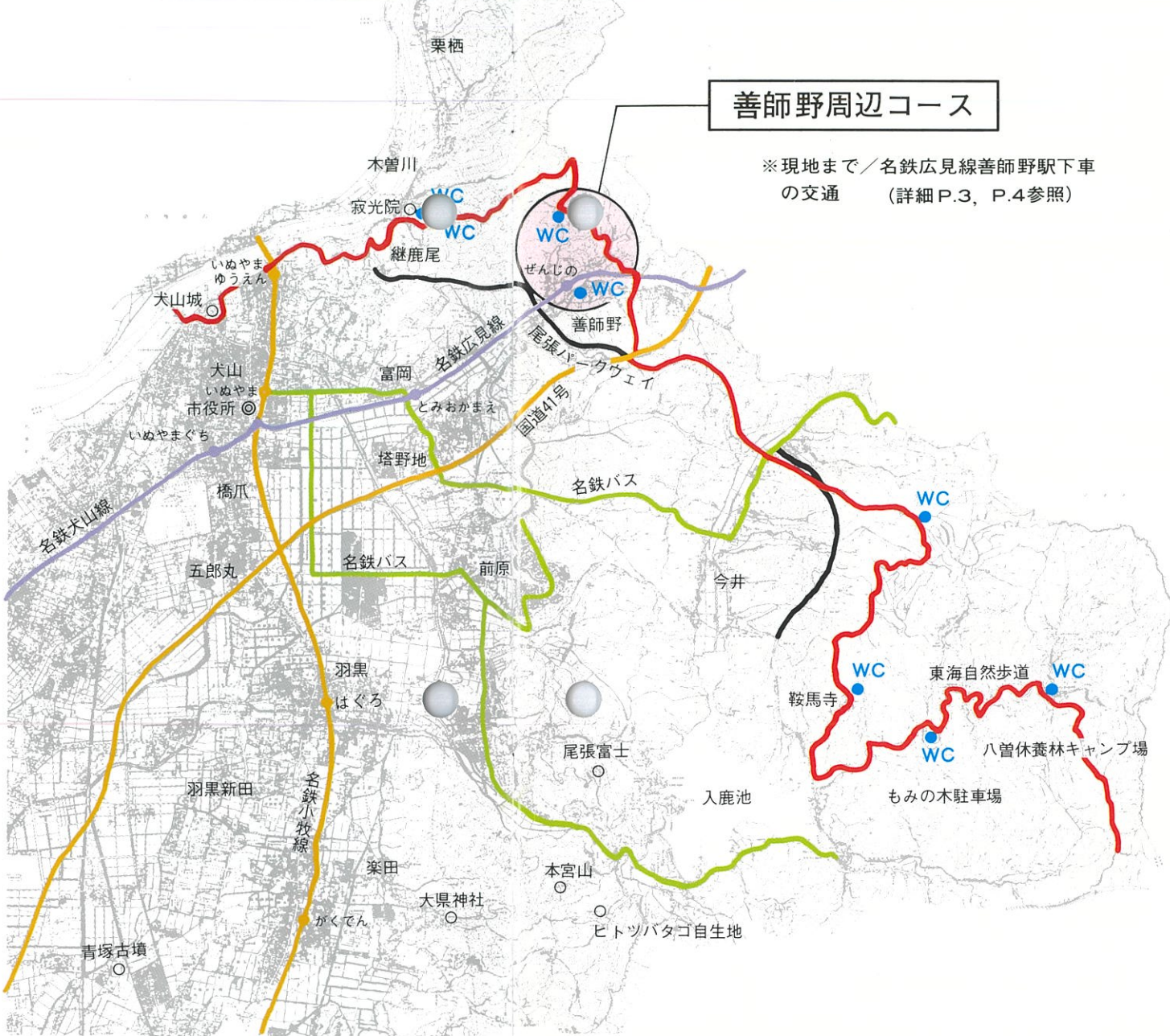


犬山市

# 善師野周辺コース位置図

## 善師野周辺コース

※現地まで/名鉄広見線善師野駅下車  
の交通 (詳細P.3, P.4参照)



## はじめに

人間は、地球という自然環境の中で生まれ、多くの植物や生き物と同じように自然の恵みを受けて生きています。ですから、自然を知り自然を愛することは、私たち自身を知り愛することでもあるのです。

私たちの住む犬山市は、市の北側を木曾川が流れ、東部地域は緑の宝庫愛岐丘陵地帯が広がる、愛知県の中でも山や川の自然が多く残されている数少ないまちの一つです。

こうした自然についての知識を深め、自然の大切さを考えていくため、「犬山市の自然」、「犬山市の野鳥」を始め、数多くの自然を紹介する冊子をいくつか作成してきました。

今年度より、これらの冊子とともに犬山市の自然を各地域ごとに紹介し、みなさんの自然観察のお手伝いができるような手軽な自然シリーズとして、このガイドブックを作成していきます。

今回は、第一弾として善師野周辺コースを紹介させていただきました。このガイドブックがより多くの方に利用され、自然の中に飛び込んでいただけるきっかけとなれば幸いです。

平成6年2月

犬山市長 松山邦夫

## もくじ

P. 1～2	準備をしよう
P. 3～4	善師野駅周辺コース案内図
P. 5～6	①善師野駅周辺
P. 7～10	②白山神社周辺
P. 11～12	③熊野神社周辺
P. 13	④大洞池周辺
P. 14	どこにいるのかな？ (森の掃除屋さん)
P. 15	どうなるのかな？ (落ち葉のゆくえ)
P. 16	近づかないで!! (山の中で注意する動植物)
P. 17	探してみよう! (外国からの移住者)

## 準備をしよう

### ◎はじめに

善師野周辺コースは名鉄善師野駅が付近にあり、他の場所に比べて交通の便の良いところです。

コース設定については、前日までに地図で場所を確認し、自分の体力を考えて決めてください。普通に歩く時間よりもかなり多めに時間を取らないと観察をする事はできません。地図は、国土地理院の2万5千分の1の地形図（犬山）が便利ですが、1枚になった都市地図も利用できます。用意ができたなら前日は早めに就寝し体調を整えてください。

なお、当日は時間に余裕を持って行動しましょう。途中でけがをしたり気分が悪くなったら、コースの途中でも観察をやめて適切な処置をしてください。

### ◎服装について

目的や場所によって多少変わりますが、このコースでは長ズボンに長そでのシャツ、帽子に運動靴を基本にします。山の中では毒虫や木のトゲ、木や草の葉などでけがをしたり、かぶれたりすることがあり注意が必要です。

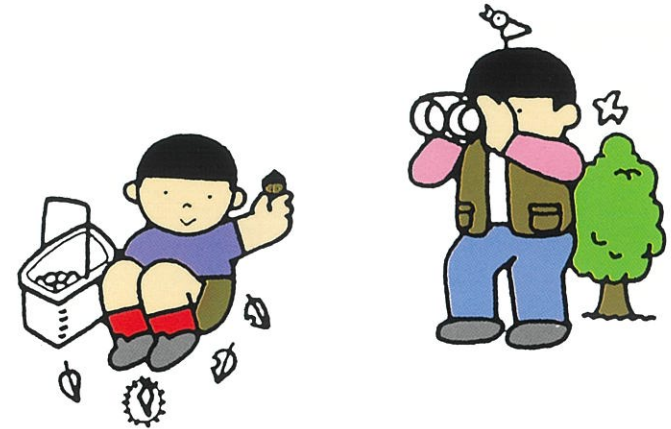
### ◎持ち物について

これがないと観察できないという物はありませんが、あれば便利なものを書いておきます。

- ノート……ノートはポケットに入る物、鉛筆は使い古しの短いと鉛筆 物にひもを付けて首に掛けておくと便利です。
- 双眼鏡……鳥や木の上の方を観察するのに便利です。倍率の高

いものは視野が狭く重いので7～8倍の物が便利です。逆さにして対物レンズから見るとルーペの代用にもなります。

- ルーペ……10～15倍位が適当です。
- 図鑑……保育社「カラー自然ガイド」野鳥の会「野山の鳥」などハンディな物にします。
- その他……1日の予定の時は弁当、水筒、雨具、ゴミ袋、手ぬぐい、軍手、虫よけなどの薬、バンドエイド、記録が必要であればカメラ、テープレコーダーなど、手に持たないでリュックサックに入れます。

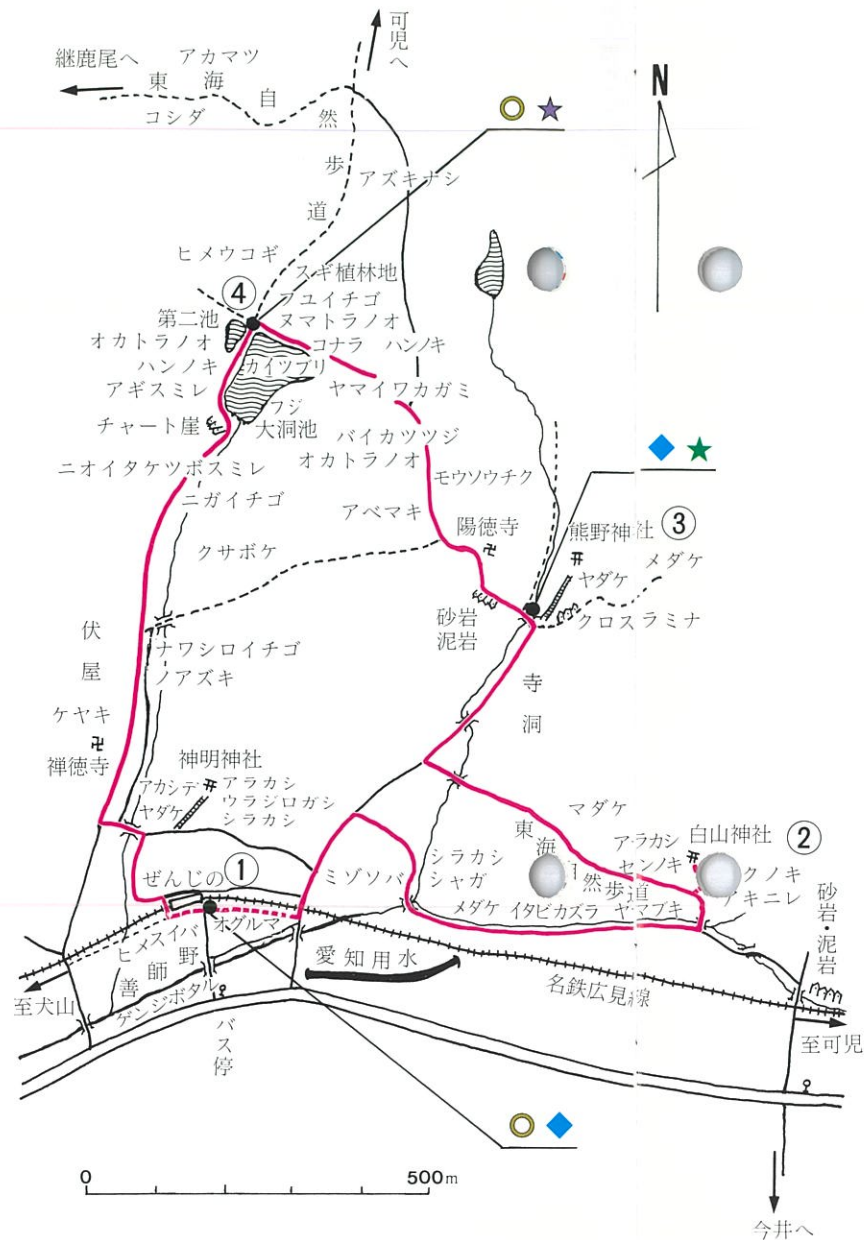


自然は自分一人のものではありません。むやみに花や昆虫などを取るのはやめ、マナーを守って楽しく自然観察をしましょう。





# 善師野駅周辺コース案内図



## ○善師野周辺コースについて

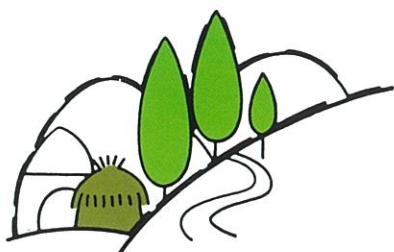
この地域は全体が二次林で、昔から人の手がよく入った里山の自然です。白山神社にはアラカシ林や、アベマキ、アキニレなどの古木が、神明神社にはウラジロガシ、シラカシ、イタヤカエデなどの植物が見られます。

また、このコースは東海自然歩道の一部でよく整備されており、起伏が少なく交通の便もよいことから、年齢に関係なく利用できる自然観察の好適地といえるでしょう。

\* 二次林とは、人の手が加えられていない森林が、伐採などで破壊された後にできた森林です。

\* 東海自然歩道は、明治の森高尾国定公園(東京)から明治の森箕面国定公園(大阪)まで、緑豊かな自然と歴史を伝える貴重な文化遺産をたずね、心身の健康と安らぎを与えてくれる歩道です。

凡	例
	善師野周辺コースの代表的コース
	案内板(地域の概要と所要時間を表示)
	解説板(観光地などの解説)
	名称板(その地点の名称を示す)
	トイレ



## ①善師野駅周辺

### ◎春の七草

人と植物との付き合いは深く、それはことわざや人々の日常の暮らしの中に伝えられています。

ここでは、人々になじみの深い春の七草を紹介します。

○田の中や水際に生えるもの

セリ、ホトケノザ (コオニタビラコ)

○田畑や道端などの水のない乾いた場所に生えるもの

ナズナ、ゴギョウ (ハハコグサ)、ハコベラ (ハコベ)、ホトケノザ (コオニタビラコ)

この5種にスズナ (カブ)、スズシロ (ダイコン) の野菜を加えて春の七草と言いますが、いずれも身のまわりにある田畑の植物です。

#### <まちがえないで!>

春の七草でホトケノザと言えはきく科のコオニタビラコのことですが、しそ科の仲間にホトケノザという名前の植物があります。



ゴギョウ (ハハコグサ)



ホトケノザ (コオニタビラコ)

### ◎カラスとスズメ

植物には動物の名前がついたものが多く見られます。多くは人が食べられないという意味があるようです。

ここではカラスノエンドウやスズメノエンドウ、カスマグサについて見てみましょう。

○カラスノエンドウ…………まめ科の植物で3～6月頃に紅紫色の花が葉腋 (葉のつけねの部分) に1～3個咲きます。さやは長さが3～5cmで、熟すと黒くなることからカラスと名前がつけられたようです。

○スズメノエンドウ…………まめ科の植物で4～6月頃に白紫色の花が葉腋からのびた柄の先に3～7個咲きます。カラスノエンドウより小さいので、カラスに対してスズメと名前がついたようです。

○カスマグサ…………まめ科の植物で4～5月頃に淡紅紫色の花が葉腋からのびた柄の先に1～3個咲きます。カラスノエンドウとスズメノエンドウの中間という意味で、この名前がつけました。



カラスノエンドウ



スズメノエンドウ

## ②白山神社周辺

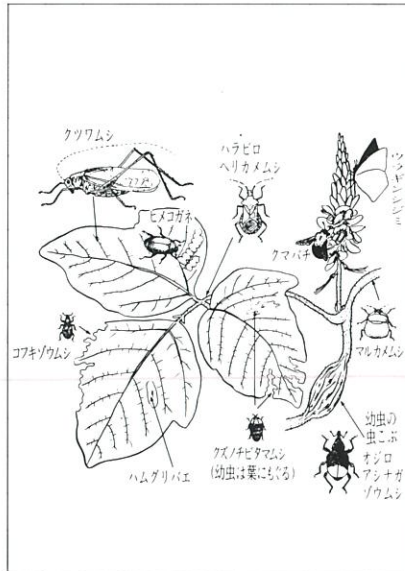
### ◎クズをめぐる自然

クズはマメ科の植物で、林の周囲でマント群落（森林の外側をつる植物が覆うこと）を作る植物ですが、ここでは背の高い草の上に覆いかぶさるように生育しています。

この植物は人と係わりが深く、秋の七草として親しまれています。この根から作る澱粉がクズ粉です。

#### <観察してみよう>

クズの葉に穴があいたり、葉がぎざぎざになっていたりしますが、これはいろいろな昆虫の食べ跡で、種類によって食べる場所が違います。どのような種類の昆虫が、どこの部分を食べるのか観察してみましょう。



クズと昆虫



クズの花

<言えるかな> 秋の七草言えるかな？ （答えは9ページ）

### ◎白山神社の森

白山神社の森は、犬山市の貴重な森の一つです。

白山神社の森の南の方から全体を見ると、隣の山と生えている植物が全く違うことがわかります。隣の山はほとんど落葉樹ですが、白山神社の森は常緑樹のアラカシが中心になっています。このアラカシを始め、南斜面で日の当たる場所には、日当たりの好きなムクノキ・アカメガシワ・アキニレなどの落葉樹が多く見ることができます。

また、神社の拝殿の横に一名センノキと呼ばれる大きなハリギリの木があります。ハリギリという名前の由来は、若木のとき鋭いトゲがいっぱいあることから付いたものです。ただし、トゲは成木のときにはありません。



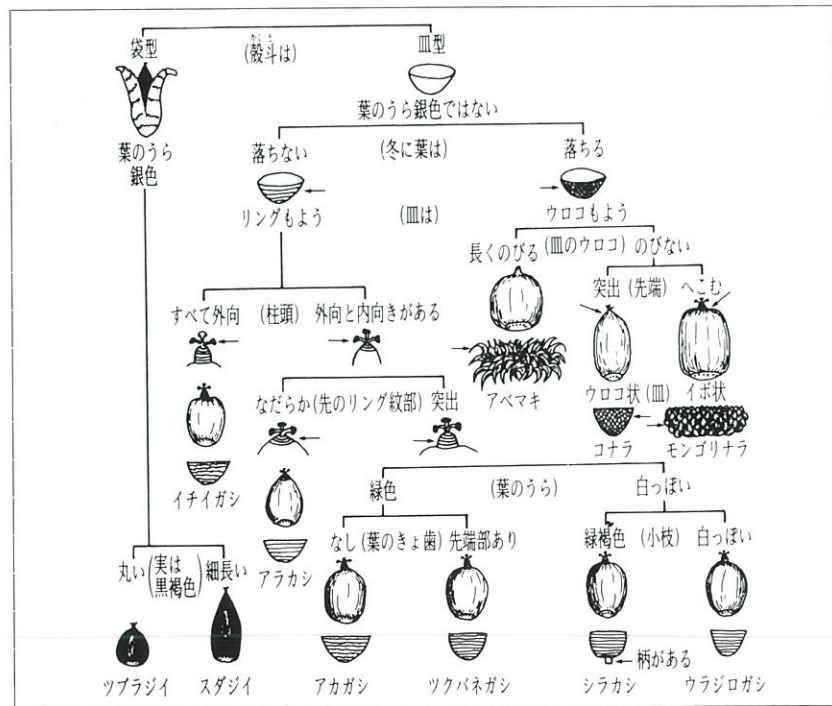
白山神社の森

## ◎どんぐりの仲間

善師野周辺コースにはいろいろなどんぐりの仲間を見ることができます。

白山神社では常緑樹のアラカシが、大洞池では落葉樹のコナラやアベマキが、そして、神明神社ではアラカシやウラジロガシがそれぞれ実を付けます。

ここでは、図を見ながら、どんなどんぐりがどこにあるかを調べてみましょう。



どんぐりの仲間

(7ページの答え) …… 秋の七草

ハギ・クズ・ナデシコ(カワラナデシコ)・オバナ(ススキ)  
オミナエシ・フジバカマ・キキョウ



アラカシ



アキニレ

## ◎アリジゴク

神社の倉の軒下にはアリジゴク (ウスバカゲロウの幼虫) を見ることができます。

“蟻地獄”と呼ばれているこのアリジゴクは、砂にすり鉢状の穴を掘り、アリがその穴に落ちてくるのを待っています。穴に落ち込んだ獲物は、中にある幼虫に体液を吸い取られます。幼虫は、砂の穴の中で球形のまゆをつくり、さなぎになります。



ウスバカゲロウの成虫



アリジゴクの巣



### ③熊野神社周辺

#### ◎地層を観察しよう

善師野付近は、新生代第3紀に可児市にかけて大きな湖があったところです。

ここでは、湖の底に堆積した土、砂、砂利などでできた地層を崖地になって岩が露出した場所に見ることができます。

また、このような場所に生える植物はヤブソテツ、イワオモダカ、ピロードシタなどのシダ類やツメレンゲ、コシガマ、ヤマブキ、イタビカズラなどで、他の場所に生えるものと少し違いがあります。ここでは、その地層の特徴とそこに生える植物を観察してみましょう。



イワオモダカ



ヤマブキ



地 層

#### ◎ササとタケの仲間たち

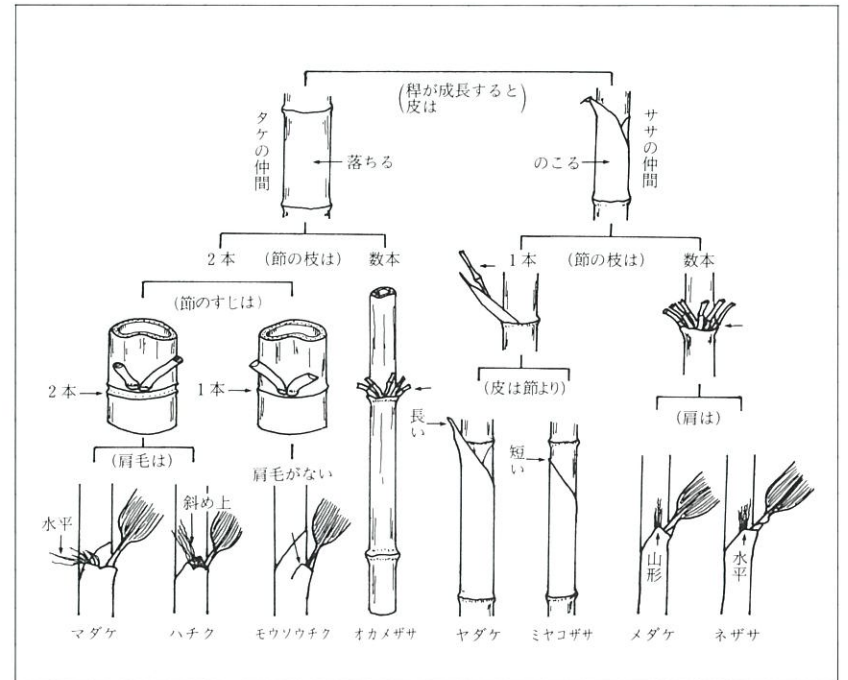
善師野周辺コースにはササやタケが数種類見られます。

熊野神社にはヤダケが、前の道を右に入った隣の山にはメダケが生育しています。この2種はタケと呼ばれていてもササの仲間です。タケは稈が成長すると、タケノコのときにあった竹の皮が落ちてしまいますが、ササは成長しても皮が落ちません。

ヤダケは弓の矢に使用されたことからこの名があり、昔は城の中などでは自給のためによく植えられたようです。

また、熊野神社より先では、マダケやモウソウチクなどタケの仲間も観察できます。

モウソウチクはタケノコを採るために植え、マダケはカゴを作ったり家の壁を塗る下地を作ったりするのに使用され、どちらも人と係わりの深い植物です。



ササとタケの仲間

## ④大洞池周辺

### ◎落葉樹の森

善師野付近の林にはアベマキが、大洞池付近ではコナラがよく見られます。地層で比べてみると、新生代の地層の上にはアベマキが、中・古生代の地層の上にはコナラが多いように見受けられます。

ここでは、同じ落葉樹のアベマキとコナラについて調べてみてください。

○アベマキ……………ブナ科の落葉樹で、表面にはコルク層がよく発達しています。

○コナラ……………アベマキと同じブナ科の落葉樹で、樹皮は灰褐色で浅くたてに裂けています。

アベマキやコナラは薪炭(たきぎとすみ)やしいたけの原木、建物、家具の材料となるなど、人との係わりが深い木です。



アベマキ



コナラ

## どこにいるのかな？

### ●森の掃除屋さん

森の中にはさまざまな生き物が住んでいますが、その動物が落とした糞や動物の死骸はいつのまにか無くなってしまいます。

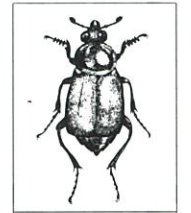
これは、糞や動物がだんだん腐ったり、昆虫が食べたりしているからです。

ここでは、森をきれいにする昆虫を見てみましょう。

#### ○クロシデムシ

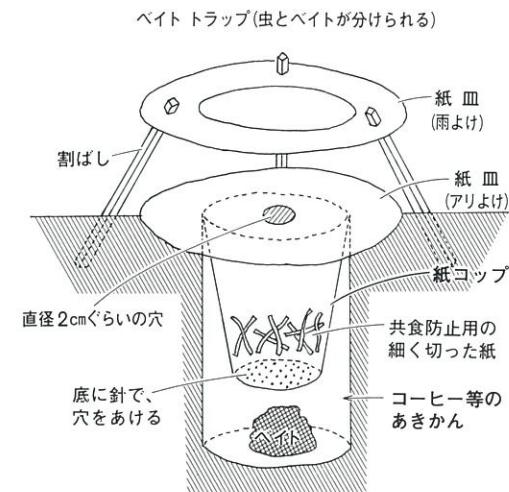
シデムシ科の一種で、腐った肉などを食べます。

体は黒色で、日本に生息するシデムシの中では一番大きなもので、クロシデムシは良好な自然の指標になります。



クロシデムシ

### 〈落とし穴をつくってみよう〉



1. コーヒー等のあきかんの中に、牛や豚の肉のかたまりやひき肉、魚などのえさを入れる。
2. えさを入れたあきかんを底に入れ、その中に紙コップを入れる。
3. 紙コップには、中に入った虫たちが共食いすることを防ぐため、木くずや紙切れなどを入れる。
4. あきかんの中に雨水が入らないよう雨よけを作る。

\* 季節やえさの種類、状態によってどのような虫が集まるのか観察してみよう。

## どうなるのかな？

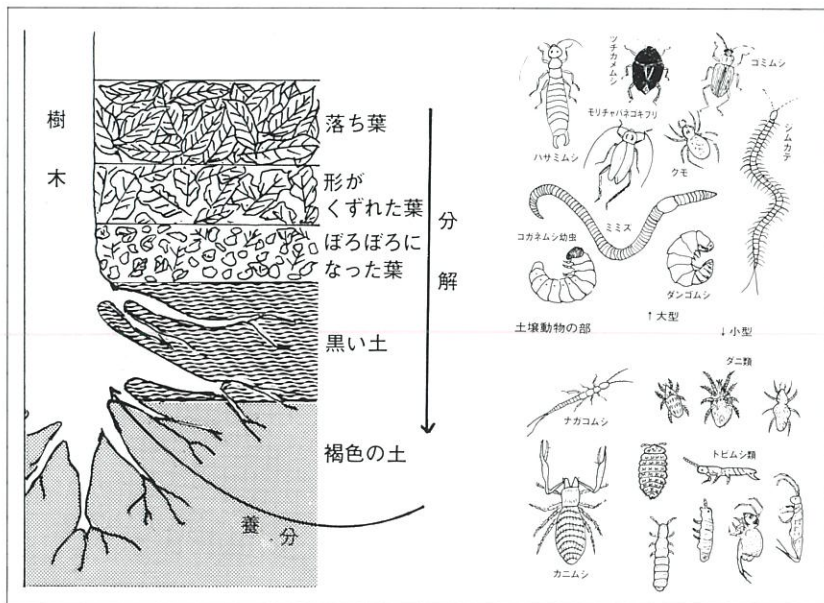
### ◎落ち葉のゆくえ

木の下にはたくさんの落ち葉が落ちています。たとえば、落葉樹は冬に葉を落としますが、常緑樹のカシ類は新しい芽が出てから古い葉を落とします。ここでは、この落ち葉がどうなるのか調べてみましょう。

#### <観察してみよう>

落ち葉の下には、落ち葉を食べる昆虫や、落ち葉を分解する細菌、それを食べる生物など、あまり見たことのない生き物がここで働いています。そして、分解された落ち葉は有機質として植物を育てる養分になります。

これらの生き物は森によって住んでいる種類が違います。コースのいろいろな場所の落ち葉の中を観察して、どのような生き物がいるのか観察してみましょう。



落ち葉のゆくえ

## 近づかないで!!

### ◎山の中で注意する動植物

さわやかな緑やきれいな花、かわいい昆虫たちが住んでいる山にも人間にとって危険な動植物が生きてます。

これらの動植物には注意しましょう。

#### ○危険な動物

ヘビの仲間で、田の畦や湿地に住むマムシに毒があるのは知られていますが、山などで見かけるヤマカガシにも毒があります。



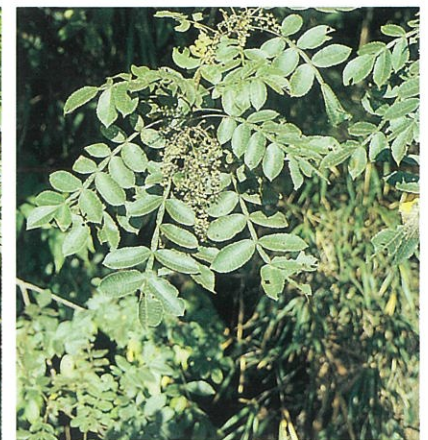
ヤマカガシ

#### ○危険な植物

ウルシ科のヤマウルシやヌルデなどは、さわるとかぶれる人もいますので気をつけてください。



ヤマウルシ



ヌルデ

## 探してみよう!

### ◎外国からの移住者

日本には外国から入ってきた動植物が見られます。このように外国からきて日本に定住した生物を帰化生物と呼びます。

ここでは、このコースに多いキク科の在来種ノコンギクと外来種キダチコンギクについて観察してみましょう。

- ノコンギク……山野で普通に見られる植物で、8～11月頃に淡青紫色の花をつけます。
- キダチコンギク……北アメリカ原産の植物で、10～11月頃に白色あるいはやや淡紫色の花をつけます。

#### <観察してみよう>

ノコンギクとキダチコンギクの生えている場所の特徴を観察してみましょう。



ノコンギク



キダチコンギク

\* ノコンギクは山野のあまり荒らされていない場所に生えていますが、キダチコンギクは道端みちばたや荒れ地などの人の手が加わった場所によく生えています。

### 協力者

大竹 勝 (財)日本モンキーセンター学芸員  
愛知県自然観察指導員連絡協議会会長  
犬山市自然保護審議会委員

### 参考文献の紹介

原色日本植物図鑑 草木編 (上・中・下) (保育社)  
標準原色図鑑全集 6 岩石鉱物 (保育社)  
野外観察図鑑 2 植物 (旺文社)  
山溪ハンディ図鑑 1 野に咲く花 (山と溪谷社)  
野外ハンドブック 樹木 1・2 (山と溪谷社)  
犬山市の植生 (犬山市)  
犬山市の自然をたずねて (犬山市)  
犬山市の昆虫 (犬山市)  
犬山市の自然 (犬山市)  
犬山市の野鳥 (犬山市)  
犬山の魚たち (犬山市)

### おわりに


このパンフレットの作成にあたっては、大竹勝先生にご協力をいただき多くの資料や貴重なご意見ご指導をいただきました。

なお、内容についてお気付きの点がありましたら犬山市役所企画課までご連絡ください。

事務局 犬山市役所 総務部 企画課 企画統計係  
犬山市大字犬山字東畑36番地  
TEL (0568) 61-1800



平成6年は



犬山市制40周年  
出会いふれあい いまち犬山



平成6年

いい汗キャッチ！生き生き愛知

**わかしゃち国体**

ソフトボール競技成年男子1部開催